HITACHI

金融システムへの耐量子計算機暗号への移行を支援

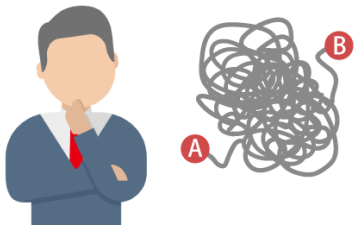
耐量子計算機暗号への移行に向けた支援サービス

RSA暗号や楕円曲線暗号などを解読できる量子コンピュータの実現に備え、
金融庁より要請されている耐量子計算機暗号
（Post-Quantum Cryptography／以下、PQC）への早期移行を支援します。

このような課題はありませんか？

金融庁の要請に対し
まず何から始めればよいか
わからない

具体的に何を、
どのように移行すべきか
全体像がつかめない



やるべきことは把握しているが、
システムの調査手順が
わからない

暗号化の専門家がPQCへの移行を支援します

暗号化ソリューションをさまざまな領域で提供

エンドポイントからクラウド、ファイル共有、さらにはデータベース領域までを対象とした、利便性とセキュリティの両立をめざした暗号化ソリューションを提供します。

暗号化製品の開発経験で培った豊富なノウハウ

情報漏洩防止ソリューション「秘文」をはじめ、さまざまな自社製品を開発してきた技術・ノウハウを生かして、お客さまの業務事情などを踏まえた提案が可能です。

25年以上の販売実績にもとづく高い信頼性

1996年から販売している「秘文」は、9,000社以上、1,001万ライセンス*1の導入実績があり、その信頼性と継続的なサポートが評価されています。

*1 2025年3月時点

株式会社 日立ソリューションズ

特長

専門的な視点でPQCへの迅速な対応を支援

自社製品開発に携わった暗号技術の専門家が、クリプト・インベントリの作成やリスク評価を支援。量子コンピュータに対する脆弱性や新たな暗号技術についても専門知識を生かしてサポートします。

効率的な現状分析を実現

AWS などクラウドサービス上のシステムでは、現状分析にFortanix社の「Key Insight」を活用。システム内で使用されている暗号鍵の使用状況やリスクを評価し、効率的な現状分析とリスクの可視化を実現します。

将来的な暗号技術の変更にも柔軟に対応

暗号技術が進化したり新しい脅威が現れたりした際に、既存の暗号アルゴリズムや暗号鍵を迅速かつ柔軟に変更・更新できる能力や仕組み（クリプト・アジリティ）を重視した推奨策を提案します。

AWS：Amazon Web Services

提供内容

お客さまシステムの暗号技術の使用状況の把握からリスク評価、移行方針の策定まで支援します。

①一次仕分け（優先順位付け）	②現状分析（インベントリ作成）	③リスク評価	④推奨策の検討	⑤レポート作成
・猶予期間 ・攻撃リスク ・情報の重要度	・資産の洗い出し ・暗号技術の特定 ・システム構成の把握 ・各システムが保有する情報の把握	・使用中の暗号の耐性 ・暗号鍵の管理状態 ・システムのライフサイクルとデータの保護期間	・代替暗号アルゴリズム ・クリプト・アジリティ ・移行方針	・クリプト・インベントリ ・リスク分析結果の提示 ・移行方針の提案

日立ソリューションズにお任せください

単なるコンサルティングに留まらず、現状分析から具体的な移行計画の策定、そしてシステムの実装まで、一貫したトータルサポートが可能です。

※Fortanixは、Fortanix,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ※Amazon Web Servicesは、Amazon Technologies, Inc.の米国およびその他の国における商標です。 ※秘文は、日立ソリューションズの登録商標です。 ※その他、本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※本リーフレット一部は、生成AIにより生成されたコンテンツを使用しています。 ※製品・サービスの仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品・サービスを輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報
https://www.hitachi-solutions.co.jp/pqc/